

【議案第1号】

令和3年度NPO法人北海道遺産協議会事業報告

(1) 人材育成

1) 「地域連携事業」

① 北海道ヘリテージラボ

a. ヘリテージラボ・オンライン（1月、2月）

2018年度から北海道遺産関係者の学び合いの場として「ヘリテージラボ」を実施。2021年度はzoom（オンライン会議システム）を活用した「ヘリテージラボ・オンライン」を計2回開催した。

<第1回>

実施日時：2022年1月27日（木）18:00～19:30

テーマ：「よそ者」との協働による地域遺産保全

内 容：元々は「よそ者」として地域に関わりつつ、現在はそれぞれの地域の遺産保全のキーパーソンとなった方々をお迎えし、地域外の関係者との協働について考えた。（共催：日本学術振興会科研費若手研究「文化遺産観光における刊行者のパフォーマンスと地域社会との相互作用についての研究」）

ゲスト：井上博登さん（赤平市教育委員会学芸員）

前畠洋平さん（NPO法人 j-heritage 総理事）

前畠温子さん（NPO法人 j-heritage 戦略企画室長）

進行：平井健文さん（京都橘大学経済学部専任講師）

参加人数：約40名

<第2回>

実施日時：2022年2月18日（金）19:00～21:00

テーマ：「北海道の北前船遺産」（道北・道央編）～北前船遺産の特徴と活用～

内 容：道北・道央の自治体の学芸員の方から各地域に残る北前船の遺産についてご紹介いただくとともに、遺産を活用した取組を展開している企業の方に、その魅力や活用方法などを聞きした。全国各地の参加者からの質疑応答などを交えながら今後の保存活用のあり方等についての意見交換を行った。（共催：小樽商科大学令和3年度グローカルプロジェクト「日本遺産を活用した小樽のwithコロナ対応型広域観光実証事業」）

ゲスト：高畠 孝宗さん（オホーツクミュージアムえさし館長・学芸員）

坂本 恵衣さん（いしかり砂丘の風資料館・学芸員）

高橋 琢磨さん（うんがぶらす株式会社・代表取締役）

コーディネーター 高野宏康さん（小樽商科大学）

参加人数：約70名

＜第1回ヘリテージラボ＞

〈第2回ヘリテージラボ〉

b. 北海道遺産食プロジェクト（10月～3月）

「食」をキーワードに新たな角度から北海道遺産の魅力や価値を発信する取組として、公式facebookページやInstagramに北海道遺産にまつわる食のストーリーを掲載した。原稿の制作にあたっては、遺産地域の方々に原稿確認・写真提供等のご協力をいただき、また、情報発信では、北海道庁が食のブランド力向上に向けて定めたキャッチコピー「食絶景北海道」の活用や、道地域政策課のご協力で、道庁ブログ「超!!旬ほっかいどう」に掲載いただいた。



c. 担い手ネットワーク構築チーム

予定していたスタンプラリーは、新型コロナウィルス等の状況により実施できなかった。また、新たな取組みとして予定していた、研究者のデジタルアーカイブ構築研究への協力についても実施できなかった

d. 持続可能な支援の仕組み検討チーム

将来にわたって持続的に北海道遺産所在地域を支援していくために必要な方策について検討を行う。令和3年度は今後のテーマについての検討を行った（勉強会なども予定していたが調整がつかず未開催）。

(2) 遺産の価値向上・発信

1) 「選定事業 20周年記念事業の実施」(通年)

①10月13日（どーいさんの日）の制定

20周年を記念して、今年度から、当協議会で10月13日を「道遺産（どーいさん）の日」と位置づけ、北海道遺産のPRを行った。今後も活用していく予定。

②20周年ロゴの作成

20周年事業期間中に使用するロゴを作成し、期間中に実施したイベント等の広報物等に活用して、20周年を広くPRした。

<20周年ロゴ>



<地方創生広報誌「創る」(発行: 北海道総合政策部地域創生局地域戦略課)への掲載>



③20周年特設WEBページの作成

既存WEBページ内に20周年特設ページを作成し、北海道遺産のこれまでの活動や担い手インタビューなどを掲載し、第4回選定に申請を予定している団体等の機運醸成を図った。

<20周年特設WEBページ>



④北海道遺産だより 20周年特別号（タブロイド紙）発行

北海道遺産構想のこれまでのあゆみや、各地の担い手の活動をクローズアップして、次世代に伝えたい「北海道遺産」運動はどのような想いを込めて継続されているのかを誌面にした情報誌を作成した。「北海道遺産だより」の20周年特別号として制作し、タブロイド判8ページ構成を2号発行した。

<「北海道遺産だより」20周年特別号 vol.1>



<「北海道遺産だより」20周年特別号 vol.2>



⑤既存 WEB ページに担い手の姿が見える情報の充実

担い手・関係者にアンケートを行い現在の地域の情報を収集して、既存 WEB ページの情報更新と担い手からの地域情報やおすすめポイントを掲載した。

2) 「第 4 回選定の実施」(10月 13 日～2022 年度継続)

2021 年度から「道遺産（どいさん）の日」と位置付けた 10 月 13 日に選定募集をスタートし、2022 年 2 月 28 日まで申請を受け付けた。今後は、2022 年 10 月 13 日の公表を予定して、幅広い専門家・有識者に委員としてご協力いただき選定を行う。

①第 4 回選定 WG の開催

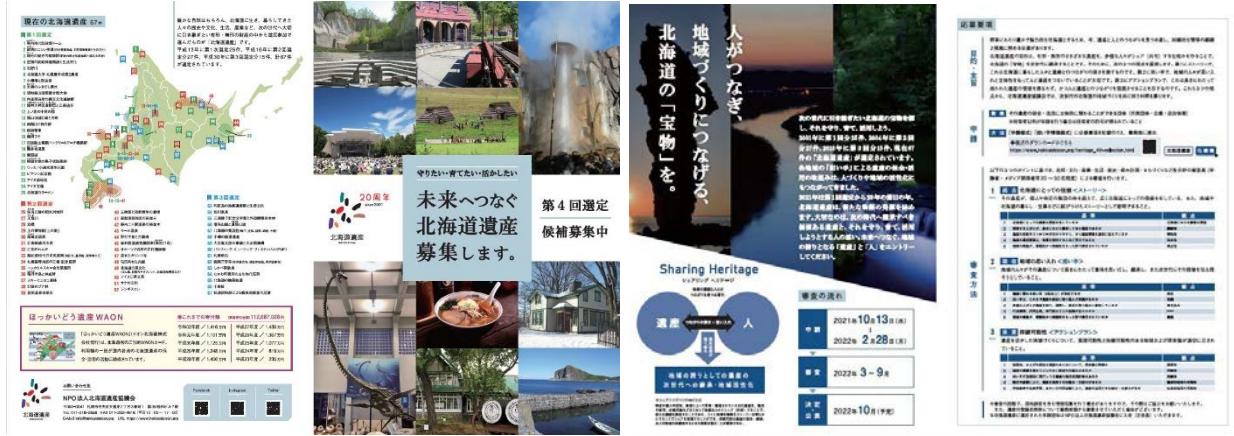
第 4 回選定に関わる全体スケジュールの統括と、申請団体の調査等を行うワーキンググループを設置し、候補募集時、申請締切後等に会議を実施した。

②第 4 回選定候補募集の実施

第 4 回選定募集パンフレットと特設 WEB サイトページを作成し、選定の機会を広く PR した。1 月 24 日には第 4 回選定解説会を行い、地域団体等の応募を促進する機会を設けた。

- ・パンフレット・ポスター配布先：北海道遺産協議会会員、担い手地域、イオン北海道グループ店舗（協力・イオン北海道）、道内市町村（協力・道庁地域政策課）

<第 4 回選定募集パンフレット>



▼1月 24 日「第 4 回選定解説会」



③SNS 等を活用した PR

第4回選定募集から選定に至るまでの機運醸成と様々な年代層への北海道遺産の周知のため、公式twitterを活用して、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院の学生にご協力いただき情報発信した。

▼学生さんによるtwitterでの発信



3) 「北海道遺産交流会議の開催」(10月26日)

協議会設立20周年を祝い、記念セレモニーとセッションを行った。セレモニーでは、「ほっかいどう遺産WAON」の寄附金感謝状贈呈式と、イオン北海道が、「ほっかいどう遺産WAON」による寄附が10年を経過したことを記念して発行してくださった、10年記念限定「ほっかいどう遺産WAON」カードのお披露目を行った。記念セッションでは、これまでの北海道遺産の歩みを振り返るとともに、担い手の皆さんにもご登壇いただき未来を展望するディスカッションを行った。

《開催概要》

1. 開会挨拶 北海道遺産協議会 会長 石森 秀三
2. 来賓ご挨拶 北海道知事 鈴木 直道 様
3. 第1部 北海道遺産20周年セレモニー
 - 1) ほっかいどう遺産WAON寄附金感謝状贈呈式
 - 2) ほっかいどう遺産WAON10年記念カードお披露目・知事に第1号カードのお渡し
 - 3) ご挨拶 イオン北海道株式会社 代表取締役社長 青柳 英樹 様
 - 4) ご挨拶 株式会社伊藤園 北海道地区 営業部 地区部長 杉山 貴宏 様
4. 第2部 北海道遺産20周年記念セッション『北海道遺産のこれまで、これから』
 - 1) 話題提供 「北海道遺産20年を振り返って」
NPO法人北海道遺産協議会 理事 萩 佑
(株式会社ノーザンクロス 地域魅力創造事業部 ディレクター)
 - 2) ディスカッション
パネラー： NPO法人ピアソン会 理事 伊藤 悟 様
夢里塾 事務局長 只野 博之 様
札幌軟石ネットワーク 事務局長 佐藤 俊義 様
AINU ARTIST ToyToy 小川 基 様
新ひだか町 総務部まちづくり推進課 課長 中村 英貴 様
コーディネータ： NPO法人北海道遺産協議会 理事 田代 亜紀子
(北海道大学メディア・コミュニケーション研究院 准教授)
 - コメント： NPO法人北海道遺産協議会 理事 萩 佑
- 第2部総合司会：
NPO法人北海道遺産協議会 理事 池ノ上 真一 (札幌国際大学観光学部教授)
NPO法人北海道遺産協議会 理事 甲谷 恵
((公社)北海道交通安全推進委員会 筆頭副会長兼事務局長)



4) 「北海道遺産フォトコンテスト 2021 の開催」(7月17日～9月30日)

各地の北海道遺産に足を運んでもらうきっかけづくりとして、「あなたが伝えたい北海道遺産」をテーマにしたフォトコンテストを実施した。入選作品は11月に実施した「北海道ヘリテージウィーク」で展示した。

・応募数：89名・198作品

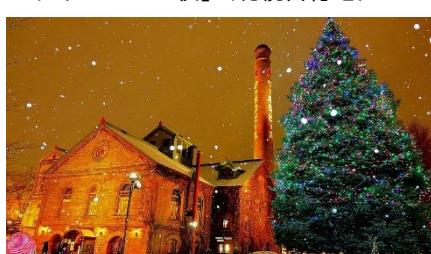
▼グランプリ 畑端 憲行様
「摩周一刻」(摩周湖)



▼準グランプリ 永井 和子様
「石狩川霧氷」(石狩川)



▼準グランプリ 千田 一也様
「クリスマスの夜」(札幌苗穂地区の工場・記念館群)



5) 「北海道遺産ヘリテージウィーク 2021 の開催」(11月6日)

札幌駅前通地下歩行空間（北三条広場（西側））を会場に「北海道ヘリテージウィーク 2021」を開催した。同会場で11月7日に実施された「地域遺産 PR イベント in チカホ」（主催：北海道）と連携して展示を行い、同イベントに参加の道内日本遺産認定地の方々のパネル展示と地域の方にもブースに参加していただいた。大型モニターでは日本遺産の紹介映像の放映も行った。その他、北海道遺産67件パネル展示、北海道遺産フォトコンテスト2021入選作の展示、令和2年度助成活動紹介パネル展示を行った。



6) 「Bunkazai Design Contest 2021 の実施」(12月17日～3月31日)

文化財の新しい見え方・魅力・価値を伝えるデザイン表現によって、これから多くの人々が地域遺産に親しむことや関わりをもつききっかけになることを目指して、前年度に引き続き、日常的に使われるグッズに展開するデザインを募集した。応募作品数・応募者数ともに前年度より増加し、その中から、入賞2作品、佳作1作品、入選4作品を選出した。2022年度には、入賞作品を使ったトートバッグを制作し、会員特典として活用するほか販売を予定したい。

<Bunkazai Design Contest 2021～北海道の歴史文化を暮らしのグッズに～>

募集期間： 2021年12月17日～2022年2月15日

審査員： 伊藤千織（伊藤千織デザイン事務所/プロダクトデザイン）

照井康穂（株式会社照井康穂建築設計事務所/建築）

平塚智恵美（有限会社叶多プランニング/商品化、アートマネジメント）

野村ソウ（スタジオワンダー/グラフィックデザイン）

酒井秀治（株式会社SS計画/まちづくり、コミュニティデザイン）

萩 佑（NPO法人北海道遺産協議会）

応募総数： 50作品（前年度34作品）

入賞作品： 吉田 未玲「ハナシハナ咲ク北海道」

丸山 直美「流氷観光」

佳作： 堂山 詩世「タウシュベツ川橋梁と景色」

入選作品： 富樫 直美（株式会社workup）「函館の街並み」

村上 智彦

「新巻鮭の木箱に印刷されるグラフィックを活用したトートバッグのデザイン」

北村 友莉「大地の学び」

櫻井 和則「Otaru Sea」

▼入賞作品トートバッグ・表面

左「ハナシハナ咲ク北海道」

右「流氷観光」



▼入賞作品トートバッグ・裏面

左「ハナシハナ咲ク北海道」

右「流氷観光」



7) 「Web 等での情報発信と管理運営」(通年)

各地の北海道遺産をはじめとする地域遺産に関する情報を、公式ウェブサイト、twitter (フォロワー4,145名)、Instagram (フォロワー420名)、facebook (フォロワー4,156名) で発信した。

<北海道遺産 facebook ページリーチ (記事閲覧) 数 上位記事>

▼1/31 投稿「食で伝えるシリーズ・空知の炭鉱関連施設と生活文化①」
(リーチ数 : 2937)

北海道遺産 Hokkaido Heritage
1月31日 13:45
【北海道遺産・食統轄北海道】 ガタタンとんがんがん鍋、「空知の炭鉱関連施設と生活文化」
さて、日本のエネルギー資源の中にもうつた「空知の石炭産業」。炭鉱マンたちは事故の危険と隣り合わせになりながら、命懸けで働いていました。その中から、毎日の内作業を支える半農半工の農事、みんなで楽しく遊む団体など、炭鉱生活にとって大切な記憶があります。また、昔から生まれた食文化を、炭鉱だけではなく、そこに多くの近代化をもたらした鉄道、港湾、鉄道に乗る労働者の食文化としてまとめたのが「炭鉱湯のじ」。その中から、毎日の内作業を支える半農半工の農事、みんなで楽しく遊む団体など、炭鉱生活にとって大切な記憶がつながっています。その歴史や生活は、北海道にとって大きな影響がありました。
【「炭鉱湯のじ」】 現在の北海道の人々が住んでいた時代や、その後、田舎から引っ越してきた大人口が、田舎の生活習慣ヒントに賛同したのが始まりです。田舎、にんじん、タマネギ、豚肉、エビ、ホタテ、田舎、的な10種類以上の具材を投入したりューム煮等、様々なところがあるスープが、冷え切って疲れた身体をあたためてくれる大評判に。今までにはプレートで、カタツムリや貝類や野菜、チャーハンを提供する食堂もあり、訪れる観光客にも人気です。また、北海道の特産品である「サケ」と「鮭」を使った「炭鉱湯のじ」が誕生しました。
【「かみがん温泉」】オホトと呼ばれていた元の「函館市市立温泉内湯」や元々かみがん赤平町、1980年に函館温泉ガラス施設が誕生しています。この時の販売メニューや「かみがん温泉」、市民の有名な「お食事」と地元の「温泉」、そして「かみがん温泉」には、当時の薬湯を伝える18個の湯屋や温泉施設があり、多くの人々が利用していました。現在、温泉施設は「かみがん温泉」としてアスレチックを力強く軽々と継ぎ組こしてきました。また、「かみがん温泉」は、心地よい露天風呂で、多くの人々が楽しめています。
#空知の炭鉱関連施設と生活文化 #ガタタン #炭鉱湯のじ #かみがん温泉 #北海道遺産
#食統轄北海道 #北海道遺産第4回 #北海道遺産第4回選定募集集中 #炭鉱湯のじ #炭鉱生活 #北海道

2,937 リーチした人數 506 エンゲージメント数 拍手を宣伝

シェア&件 いいね! コメントする シェア

▼2/2 投稿「食で伝えるシリーズ・空知の炭鉱関連施設と生活文化②」
(リーチ数 : 2545)

北海道遺産 Hokkaido Heritage
2月2日 14:56
【北海道遺産・食統轄北海道】 黄面漬き鍋と北の郷。「空知の炭鉱関連施設と生活文化」
1960年代には国内最大の産業として栄えた空知地域。全国からやってきた炭鉱マン達で賑わい、活気あふれています。日本の近代化を支えた石炭産業の現場で、人々が笑顔にさせたのが、半農半工の農事とお酒でした。
【黄面漬き鍋】炭鉱マン達など地元住民に愛されたのが、もも肉、レバー、ハツ、卵、キンカン、人参、昆布、醤油、味噌、酒粕、豆乳、味噌噌噌鍋。タマネギがモチの間に挟み込まれた絶妙な味を引き出すスパイシーカレーです。飲食店で人気なのが、タマネギの丸焼き。その弟子や娘が美味しいとお出し、「たつみ」「まよし」「三船」といった人気店で広がっていました。今まで、北海道の美味しいお酒とお酒でした。
【北の郷】明治11年に札幌で創業、明治34年に本社で挽う鉄棒に喰合している現在の北の郷町に移転した小林酒造「北の郷」。炭鉱マンたちの「漬物」にして愛されました。1990年代にはすべての販売が終了したのですが、最近、北海道の酒蔵では、当時の漬物を伝える18個の酒甕や日本酒の樽で、北の郷の「北の郷」のトマトソースを販売しています。また、北の郷の「北の郷」アスレチックを力強く軽々と継ぎ組こしてきました。また、「北の郷」は、心地よい露天風呂で、多くの人々が楽しめています。
#空知の炭鉱関連施設と生活文化 #北の郷 #黄面漬き鍋 #開山町 #美唄市 #北海道遺産
#食統轄北海道 #北海道遺産第2回 #北海道遺産を食で伝える #北海道遺産第4回選定募集集中 #炭鉱湯のじ #炭鉱生活 #北海道

2,545 リーチした人數 372 エンゲージメント数 拍手を宣伝

シェア&件 いいね! コメントする シェア

►1/20 投稿「『Bunkazai Design Contest 2021』作品募集中！」
(リーチ数 : 2279)

北海道遺産 Hokkaido Heritage
1月20日 14:17
Bunkazai Design Contest 2021
作品募集中！締切は2月1日火曜日23時まで！
【北海道遺産】とは
「文化を引き継ぐ中で新しい中核」形態の構築の中から
北海道「生」の「言」による歴史・文化、生活、伝承など、
各分野へ道筋を整えて運営していくことであります。
みなさまが気になる北海道遺産はありますか？
ぜひ、自分の想いで聞いてください！
ご要望お待ちしております！
各地の北海道遺産やコンクール詳細は、
<http://www.hokkaidoisan.org/news.php?num=43>
をご確認ください。
#BunkazaiDesignContest #2021 #裏面
#北海道遺産 #大好評本年の申請と大友底遺傳 #創成川
#デザインコンテスト #AR #アイコン

2,279 リーチした人數 203 エンゲージメント数 拍手を宣伝

コメント1件 シェア2件 いいね! コメントする シェア

8) 「会員特典の制作」(隨時)

前年度実施した「Bunkazai Design Contest 2020」でデザインしていただいたトートバッグを制作し、会員特典として活用した。ニュースレター「北海道遺産だより」は、20周年特別号を20周年事業のひとつとして2号発行した。

9) 「イベントへの参加・展示PR」(隨時)

◇「北海道遺産展」(常設：札幌市・中央バス札幌ターミナル2階)

北海道中央バス株式会社のご協力をいただきターミナル2階の1室において展示ブースを設営。北海道遺産67件のパネルを展示。

◇「北海道遺産パネル展」開催

(7/28～7/29：札幌市・北海道庁1階特設展示場B)

道庁ロビーにて北海道遺産のパネル展示を実施。「北海道遺産フォトコンテスト」の2016～2019年のグランプリ・準グランプリ作品を中心展示。ほっかいどう遺産WAON・伊藤園「お茶で北海道を美しく」キャンペーンのR02年度助成金活動パネル展示も行った。

◇「第69回全国博物館大会」ブース出展

(11/17～11/18：北海道立道民活動センターかでる2・7)

「全国博物館大会」(主催・公益財団法人日本博物館協会)にてブース出展を行った。

▼7/28-29 北海道庁1階特設展示場B
「北海道遺産パネル展」



▼11/17-18 「全国博物館大会」



◆「その他のPR活動」(隨時)

◇新聞・雑誌・定期刊行物などへの寄稿・協力

- ・北海道経済連合会会報誌への寄稿。
- ・ラジオ日本「めざせ北海道」への出演。
- ・中央バス車内映像広告『ぴりかる』での北海道遺産シリーズの放映。
- ・札幌市内中学校（1校）の1年生総合学習での講演。
- ・『地域遺産有効活用・人材育成研修会』（北海道総合政策部）での話題提供。
- ・札幌建築鑑賞会会報誌への寄稿。
- ・『開発こうほう』（北海道開発協会）表紙への写真提供。
- ・『2021年版 HOKKAIDO MAP 179 北海道市町村区域図』（NPO法人日本自治アカデミー）の作成協力。

◇リーフレット・情報誌などの設置・配布

中央バス札幌ターミナル2階の北海道遺産パネル展会場などでパンフレットの設置・配布をいただいた。

◇企業・団体などによる北海道遺産の活用・紹介及び北海道遺産ロゴマークの活用

- ・全国育樹祭でのパネル掲示（北海道）
- ・『れきぶんフェス 2022』でのパネル提示（札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会）
- ・日本ハムファイターズの『THEBRICK プロジェクト』で江別のれんがを使用することから、日本ハムファイターズWEBページにて北海道遺産の紹介。
- ・京王百貨店秋の大北海道展での待合スペースパネルへの北海道遺産掲示。
- ・NHK 札幌放送局による番組内（「おはよう北海道」等）での北海道遺産映像の紹介。
- ・下記書籍等の表紙・本文に北海道遺産の概要や写真等が活用された。

『北海道遺産完全ガイド』（北海道新聞社）

『CONSTRUCTION'S EYES』（株式会社札幌メディア総合研究所発行）

◆「ニュースレターの発行」（年2回）

今年度は、「北海道遺産だより」を20周年特別号として制作し、タブロイド判8ページ構成を2号発行した。※20周年記念事業の項参照

◆「北海道遺産グッズ」の販売（通年）

（3）支援のしくみの構築

◆「ほっかいどう WAON 助成活動」支援（6月～）※兼「I. 人材育成」

今年度も、2020年度ほっかいどう遺産WAON寄附金を活用し、遺産地域への活動助成を行った。18団体に総額700万円の助成を行った。

※助成先の活動については「資料1」：令和3年度「ほっかいどう遺産WAON」助成活動報告参照

◆「お茶で北海道を美しくキャンペーン助成活動」支援（6月～）

今年度も、「株式会社伊藤園「お~いお茶 お茶で北海道を美しく。」キャンペーン寄附金を活用し、特に遺産地域の自然や景観の保全活用に関する活動への助成を行った。3団体に総額80万円の助成を行った。

※助成先の活動については「資料2」：令和3年度「お~いお茶 お茶で北海道を美しく。」キャンペーン助成活動報告参照

(4) その他事業について

◆理事会・総会の開催

今年度は新型コロナ禍での理事会、総会の運営であったが、事務局会議室とオンラインシステムを活用したハイブリッド型で行った。

○第1回理事会

◇日時 令和3年4月5日（月） 18:00～19:30

◇会場 北海道遺産協議会事務局およびオンライン会議システム Zoom

◇内容 令和2年度活動の概略報告、商標登録について、第4回選定検討 WT会議の進捗報告、新年度事業計画について

○第2回理事会

◇日時 令和3年5月21日（金） 18:00～19:30

◇会場 北海道遺産協議会事務局およびオンライン会議システム Zoom

◇内容 令和2年度事業報告、収支決算及び監査報告、第4回選定のあり方についての提言（案）について、令和3年度事業計画（案）、及び収支予算（案）

○令和3年度 通常総会

◇日時 令和3年6月28日（月） 15:00～17:00

◇会場 北海道遺産協議会事務局およびオンライン会議システム Zoom

◇内容 令和2年度事業報告、収支決算及び監査報告、（報告） 第4回選定のあり方についての提言、令和3年度事業計画（案）、及び収支予算（案）

○第3回理事会

◇日時 令和4年2月9日（水） 18:00～20:00

◇会場 北海道遺産協議会事務局およびオンライン会議システム Zoom

◇内容 今年度事業の報告・進捗、第4回選定に関する報告・提案事項、北海道庁からの相談事項について、北海道開発局との連携について、その他

◆会員の募集

北海道遺産会員に対し引き続き継続をお願いした。

－令和3年度 正会員・賛助会員一覧－

◇市町村（44会員）

雨竜町／中川町／余市町／登別市／新ひだか町／名寄市
別海町／黒松内町／江差町／松前町／弟子屈町／士別市
小清水町／標津町／中標津町／江別市／俱知安町／旭川市
伊達市／様似町／遠軽町／厚岸町／下川町／帶広市
鶴居村／足寄町／上士幌町／月形町／音更町／増毛町
鹿部町／浜中町／札幌市／標茶町／上富良野町／石狩市
函館市／積丹町／三笠市／ニセコ町／音威子府村／稚内市
上ノ国町／京極町

◇団体・協会（34会員）

砂川観光協会／特定非営利活動法人あしょろ観光協会／積丹観光協会
北海道遺産 ジンギスカン応援隊／一般社団法人余市観光協会
一般社団法人石狩観光協会／公益社団法人北海道アイヌ協会
一般財団法人道南歴史文化振興財団／NPO 法人北海道鉄道文化保存会
公益社団法人北海道観光振興機構／昭和新山国際雪合戦実行委員会
認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト／十勝川温泉旅館組合
夢里塾／NPO 法人ダウン・ザ・テッシ／むかわ町穂別博物館
北海土地改良区／一般財団法人北海道歴史文化財団／土の博物館土の館
北海道和種馬保存協会／NPO 法人天塩川を清流にする会
利尻しまじゅうエコミュージアム／公益財団法人網走監獄保存財団
札幌軟石ネットワーク／NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団
北の縄文道民会議／石狩川下覧櫂／NPO 法人ピアソン会
NPO 法人ひがし大雪アーチ橋友の会／札幌村郷土記念館保存会
音更町十勝川温泉観光協会／公益財団法人三浦綾子記念文化財団
苗穂駅周辺まちづくり協議会／北海道農業協同組合中央会

◇企業・その他（10会員）

日本清酒（株）／（株）北海道新聞社／北海道中央バス（株）
福山醸造（株）／医療法人社団宮崎整形外科医院
オホーツク・ガリンコタワー（株）／サッポロビール（株）
北海道旅客鉄道（株）／雪印メグミルク（株）
エムエムエスマンションマネジメントサービス（株）

◇役員・個人（37会員）